



建設中の市渡高架橋。奥に見えるのは渡島トンネルの入口

新幹線を つくる

Vol.20

鉄道・運輸機構は、北海道新幹線（新函館北斗・札幌間）の建設主体として、北海道新幹線の整備事業を進めています。



工事の進捗と今後の予定

新年明けましておめでとうございます。新しい年を迎え、北海道新幹線（新函館北斗・札幌間）の開業へ、また一歩近づきました。今回は北海道新幹線整備事業の進捗状況と今後の予定について紹介します。

現在、新函館北斗・札幌間では全十七本のトンネル工事（全線四〇工区）に順次着手しています。二〇二二年十二月現在でトンネル全延長一六九歳のうち、約九八・四歳と、全体の約五八％の掘削が完了しています。トンネル以外の高架橋などの工事について



建設中の大断面トンネル（渡島トンネル）

では、北斗市の市渡高架橋で基礎杭工事を実施しているほか、多くの地区で工事準備を進めています。

また、新函館北斗駅から札幌駅までの間に、新八雲（仮称）駅・長万部駅・倶知安駅・新小樽（仮称）駅が新設されます。昨年沿線自治体から受領したデザインコンセプトの内容を基に、今年は各駅三案のデザイン案をまとめ、沿線自治体へ提案する予定です。



建設中の羊蹄トンネル

安全を第一に高難度のトンネル工事に挑む

北斗市・八雲町間では、完

成すれば「日本最長の陸上トンネル」となる見込みの渡島トンネル（三二・六七五メートル）で、掘削断面積約二四〇平方メートルという大断面トンネルの掘削工事が始まっています。一方、ニセコ町・倶知安町間の羊蹄トンネルでは、ルートを阻む巨大な岩を取り除く工事を行っています。ほかにも札幌市街地のシールドトンネル工事、在来線近傍での開削トンネル工事など高難度の工事が進行中です。

JRTTでは、これまで培ったノウハウと対応力を発揮するとともに、新しい取り組みも取り入れながら、引き続き安全を第一に工事を行います。

本年もJRTTを
よろしくお願いいたします。



北海道新幹線建設局長
竹津英二 さん